2015-B	
拠出金・基金の名称	EITI事務局拠出金（旧EITIマルチドナー信託基金拠出金）
種　　別	(イヤーマーク)　　ノン・イヤーマーク

【拠出先の国際機関名】採取産業透明性イニシアティブ(EITI)

【所管官庁担当局課・室名】外務省経済局経済安全保障課

【当該任意拠出金の目的・用途等】

我が国がこれまで拠出していたEITIマルチドナー信託基金は2015年をもって閉鎖されることとなり，新規基金への参加は検討中のところ，27年度は同信託基金への拠出は取りやめた。一方，G7伊勢志摩サミットの議長国となったことに鑑み，G7における関連分野での取組とEITIの取組の効果的な連携を行うために，EITI事務局に対してプロジェクト別の任意拠出を行うことで，G7会合及び調査委託費用として拠出することとした。

【最近3年間の我が国支払額及びODA率】

単　位	邦　貨（千　円）	外貨1（千米ドル）	外貨2（千　　）	レート	ODA率（%）
平成27年度	4,015	37	ー	1米ドル = 110円	100
平成26年度	5,563	57	ー	1米ドル = 97円	100
平成25年度	16,400	200	ー	1米ドル = 82円	100

【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】

我が国の27年度の拠出は，27年末をもってEITIマルチドナー信託基金が閉鎖されることが決定し，かつ余剰金が発生する見通しとなったため，資金の流れの透明性を高めることを通じて我が国の資源の安定供給を確保するというこれまでと同じ目的のために予算をより有効に活用すべく，同基金ではなく，EITI事務局に対して拠出することとし，28年度の伊勢志摩サミットに向けたEITIとの効果的な提携を行うためにG7会合及び調査委託費用として拠出することとした。

本事業では，本年2月にリマにて開催されたEITI総会の機会を捉え，G7関係者及び関係ステークホルダーを一堂に集め，コネックス及びEITIの連携に係る専門家による協議を行うことで，両イニシアティブの連携を強化すると共に本年6月のG7伊勢志摩サミットに向けた議論の成熟に貢献した。また，EITIの主要活動目標であり，コネックスの取組の主要な三本柱の一本をなす透明性の向上のため，EITIの取組とコネックスの取組との間のシナジーの向上に向けた委託調査を実施せしめている。調査研究成果物は28年末までに提出される見通し。